

第60回（令和6年）県民功労者表彰受章者

事 績 概 要

（注）受章者の年齢については、受章日（令和6年4月16日）現在で表記しています。

事 績 概 要

地方自治功労

中村 進一

伊勢市 76歳



氏は、平成七年四月、地域住民の推挙により、三重県議会議員に初当選してから七期二十八年の永きにわたり、住民の信望を一身に集め県民福祉の向上と県政の推進に献身的な努力を重ね、地方自治の発展に寄与した。

この間、第百六代議長、第百五代副議長をはじめ、環境・防災対策特別委員長、健康福祉環境常任委員長、生活振興常任委員長、新産業（IT・環境産業等）創造調査特別委員長等の要職を歴任し、卓越した見識と情熱をもって、開かれた議会運営、住民本位の政策決定と政策監視・評価、独自の政策提言等に取り組み、二元代表制の一翼を担う議会活動の充実に多大な貢献をした。

特に、議長在任中には、七年ぶりとなる政策討論会議の設置およびとりまとめ、三重県手話言語条例の制定等、その手腕を余すことなく発揮した。

このほか、全国都道府県議会議長会副会長、四日市港管理組合議会議長、国土利用計画地方審議会委員、都市計画地方審議会委員に就任し、各分野において的確な指針と助言を与えた。

このように、氏の地方自治の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

教育功労

谷岡 経津子

津市 81歳



氏は、「人の心の中に平和の砦を築く」というユネスコ活動の理念に共感し、平成七年に三重県ユネスコ連絡協議会理事兼副会長に就任して以来、県内のユネスコ活動に積極的に取り組んでいる。特に、菰野ユネスコ、亀山ユネスコ、松阪ユネスコ、紀北町ユネスコの各支部創設時には、各団体との連絡調整や支部の運営体制の構築等に中心となって携わるなど、県内のユネスコ活動の体制づくりに尽力した。平成十四年からは同理事長を務めるほか、日本ユネスコ協会連盟評議員に就任しその活動の場を全国へ広げるなど、県内外のユネスコ活動の推進に指導的な役割を果たしている。

また、平成十三年から平成二十四年まで、四日市大学総合政策学部教授として、「生涯学習とまちづくり」をテーマとした講義を行うとともに、各地で積極的な講演活動を行うなど、県内における生涯学習の理念普及に大きく貢献した。

さらに、三重県社会教育委員や、三重県生涯学習センター運営審議会委員、三重県放課後子どもプラン支援会議会長等を歴任し、各分野において積極的かつ的確な提言を行った。

このように、氏の社会教育の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

保健衛生功労

油屋 藤夫

伊賀市 78歳



氏は、昭和四十七年に美容室ビューティショップブーケを開設して以来、約五十年の永きにわたり美容業務に精励し業界の発展に尽力した。

この間、平成十年から三重県美容業生活（旧環境）衛生同業組合理事長として組織強化に努めたほか、県内美容業における技術の継承、地域福祉事業の展開、後進の育成に取り組んだ。特に、地域貢献への意識を強く持ち、在宅介護や施設入居の高齢者等、美容店訪問が難しい人々が安心してサービスを受けられるよう、県内各地で組合員に対する介護講座を開催し出張美容を制度化するなど、美容業を通じた地域福祉の礎を築いた。また、全日本美容業生活（旧環境）衛生同業組合連合会理事、副理事長のほか、全日本美容講師会事務総長を歴任するなど、その活動の場を全国へ広げ、美容技術の向上、衛生思想の普及等に取り組んだ。

さらに、三重県生活衛生営業指導センター理事長、三重県生活衛生同業組合連合会会長等の要職を歴任し、県民生活に関わりの深いサービスを提供する生活衛生関係営業者の経営安定化や、加盟組合の連携強化に取り組むほか、コロナ禍では、感染防止対策の陣頭指揮をとり、行政、医療関係者等と連携し活動を続けた。

このように、氏の生活衛生の振興に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

農業功労

中林 正悦

伊賀市 76歳



氏は、中林牧場の代表取締役として、伊賀地域における伝統的な肉牛肥育の振興と、優良な子牛生産地である宮崎県における繁殖基盤の強化を図るとともに、伊賀地域で初となる「農場HACCP認証」に沿った農場の衛生管理に取り組むなど、県内のみならず全国のトップリーダーとして肉牛事業の発展に尽力した。

また、平成四年に三重県指導農業士に認定されて以来、伊賀地区指導農業士会会長、三重県指導農業士連絡協議会会長を歴任し、伊賀地域および県内農業者の研鑽交流と産地振興に取り組むとともに、県内外からの研修生の受け入れや、中学生の職場体験、高校生のインターンシップ等を通じ次世代に農業の大切さを伝えるなど、後継者の育成に尽力した。さらに、伊賀産肉牛生産振興協議会の中心的存在として、伊賀牛の販売を積極的に促進し、平成二十四年の「三重ブランド認定」に繋げるほか、シンガポールへの輸出を開始するなど、地域の先駆者として常に新しい取組を進め、若手生産者の海外展開を牽引してきた。

このほか、全国肉牛事業協同組合理事長として、肉用牛経営の維持拡大および国産牛肉需要拡大等に向け中心的役割を担うなど、精力的に活動を続けている。

このように、氏の肉牛の生産振興に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

商工業功労および観光産業功労

木村 圭仁朗

志摩市 82歳



氏は、平成二十六年に三重県中小企業団体中央会理事に就任し、その豊富な知識と経験を生かして、時勢に応じた中小企業支援施策を積極的に展開するとともに組織強化に尽力するなど、県内中小企業・小規模事業者の経済的地位の向上および振興発展のため多大な貢献をしている。

また、平成五年に三重県旅館ホテル生活衛生同業組合理事、平成二十五年には同理事長に就任し、優れた指導力をもって、県内観光産業の発展に尽力するとともに、観光旅館福寿荘の代表取締役社長として、渡鹿野島を「恋人の聖地」という新たなコンセプトによりその訴求力を高め、来訪客の開拓に繋げるなど、地域の観光資源を活用した経営により地域活性化に貢献している。

このほか、県内十三の生活衛生同業組合を束ねる三重県生活衛生同業組合連合会の会長として、三重県生活衛生営業指導センターと連携し、地域包括ケアシステムに参画するなど、生活衛生関係営業における新たな活動分野の推進を図り、同業の健全化および振興を通じた公衆衛生の向上に貢献している。

このように、氏の商工業および観光産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

青少年育成功労

宮谷 則夫

伊賀市 77歳



氏は、昭和五十一年、伊賀（旧上野）地区少年警察協助手として委嘱を受け、平成十四年に同協会会長、三重県少年警察協助手連絡協議会副会長に就任し、四十七年の永きにわたり青少年の非行防止と健全育成を推進するためのボランティア活動に尽力してきた。

この間、地区内の代表および県内の中心としてリーダーシップを発揮し、青少年の健全育成に向けさまざまな取組を推進するほか、警察と地域住民のパイプ役として相互の連携強化に貢献している。特に、警察と協働した低年齢少年に対する非行防止教室の開催、「青少年の日」における街頭補導活動等に精力的かつ地道に取り組んでいる。また、地域の子供と大人とのふれあいによる農作物の収穫等を通じた社会参加活動の推進や、支援対象少年に対するスポーツ体験等を通じた居場所づくり活動への参加等により、地域住民や少年とのふれあいを通じた少年健全育成活動の重要性を広く地域住民へ周知するなど、地域の中心として、健全な青少年の育成に尽力し続けている。

このように、氏の青少年健全育成に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

消防功勞

岩木 政己

名張市 71歳



氏は、昭和五十九年から三十九年間の永きにわたり、名張市消防団員として消防業務に精励し、消防の使命である市民の生命、身体および財産を守るため、幾多の災害に際し常に率先して出動するなど、地域の安全安心の確保に尽力した。

平成二十年からは、団長に就任し、その卓越したリーダーシップをもって団員の指導にあたり、災害現場を指揮した。特に、平成三十年一月に発生した大規模工場火災においては、危険物の爆発が危惧され、工場内で大量に発生する黒煙により火点の確認が困難な中、団員の安全確保に細心の注意を払いつつ、的確な指示のもと消火活動に当たらせ、周囲の建物に延焼させることなく鎮火させた。また、高等専門学校と連携した消防防災サークルの発足支援や、学生消防団活動認証制度の導入等次世代育成に取り組むほか、ドローン隊の発足といった先進的な施策にも積極的に取り組むなど、地域防災力の向上に向けその手腕を発揮した。

平成二十六年には、三重県消防協会会長に就任し、県内消防力発展のために邁進するほか、同年に日本消防協会理事、平成二十八年からの二年間は同副会長を務めるなど、県内のみならず全国の消防防災体制の強化に尽力した。

このように、氏の地域防災力発展に寄与した功績は、まことに顕著である。